

日本共産党の竹田えつ子です こんにちははニュース 議会報告

✿ ✿ No.83 2020年5月第1・2週 合併号



くらしのご相談事
いつでもお声かけ
ください。

新型コロナ 対策

新型コロナ感染症でご心配の方は

0570-783-770 (県民サポートセンター) 24時間受付

鴻巣保健所と懇談

多い日には218件の電話相談も

4月27日(月) 秋山もえ県議・平田みち子上尾市議と共に鴻巣保健所長・副所長・保健予防推進担当部長と懇談をしました。

保健所での電話相談は、8人の保健師で対応していますが、多い時は218件もあり、24時間対応の為、幹部職員は担当日には夜でも携帯に相談の電話がかかってくるそうです。特に感染の疑いのある方を搬送する救急隊員からの問い合わせの電話もあり、気の抜けない状況が続いているそうです。一人一人の命を守るために多くの方々が頑張っていたに改めて感謝です。



▶鴻巣保健所の方々と懇談

命を守るのには、何よりマンパワーだと強く感じました。

発熱外来とPCR検査を

鴻巣保健所管内で陽性が確認された方は、4月26日現在、上尾8名・伊奈3名・桶川2名・北本0名・鴻巣10名となっております。鴻巣市議会議長に要望して開いていただきたい代表者会議(4月23日)で、竹田えつ子氏は、発熱外来・PCR検査を行えるよう、市が医師会の協力も得ながら開設することを議

会の総意として要望するよう求めましたが、残念ながら合意には至りませんでした。今後、個別に市に要望することになりました。感染拡大防止・不安を取り除くために引き続き声を届けていきます。

一律10万円給付に鴻巣市は急ピッチで準備中

国民世論が政府の閣議決定を覆して、10万円の内一律給付を行うことが決まりました。10万円給付は、収入とみなさないでほしいとの声が全国各地から起り、伊藤岳参議院議員も政府に届けてきました。その結果、収入とみなさないで厚生

の給付を!」の声を届けていきましょう。10万円の給付は、早い自治体では始まっています。鴻巣市では、急ピッチで準備が進められています。

早く自治体独自の支援策を! 鴻巣市は検討中

また自治体独自の支援策が、全国各地から公表されています。埼玉県は中小企業支援金

出。市長政策室長が対応しました。

市民団体の皆さんと懇談、30日に要望書を提出

4月27日、市民団体の代表者の方々と「新型コロナ対策懇談会」を行い、30日、鴻巣市に提出

新型コロナウイルス問題
ご意見・ご要望をお寄せください

